

「ゴルフの街いちほら」推進・司令塔の小出市長に伺う

ゴルフ場有効活用策は政治家人生の大きな柱



千葉県市原市は「ゴルフの街いちほら」として、全国的に知名度が高まっています。その中心的な推進役を担っており、かつ司令塔とも言える存在が、現市長の小出謙治氏（以下小出市長）に他ありません。

筆者は幸運にも令和 8 年（2026 年）6 月 24 日（水）、小出市長より「ゴルフの街いちほら」に関するお考えなどを伺う機会に恵まれましたので、ここで報告させていただきます。

その前に小出市長の簡単なお経歴を、市原市の Web サイトを参考に下記へ紹介させていただきます。

< 略歴 >

■氏名：小出 謙治（こいで じょうじ）

■略歴：昭和 35 年 市原市青柳生まれ

昭和 54 年 千葉県立木更津高校卒

昭和 57 年 東海大学短期大学部卒

平成 15 年 市原市議会議員初当選

平成 22 年 市原市議会 副議長

平成 25 年 市原市議会 議長

平成 27 年 市原市長に就任 / 令和元年 市原市長(2 期目) / 令和 5 年 市原市長(3 期目)

現小出市長は 42 歳時に市原市議会議員選挙へ名乗りを上げ、4,252 票を獲得し見事に当選者 36 人中トップ当選を果たしました。此处が政治家として小出市長の出発点とも言えますが、以降有権者からの高い支持を背景に、平成 22 年(2010 年)には副議長、平成 25 年(2013 年)には議長職を経て、現在、市長として 3 期目を迎えています。

小出市長のゴルフ場活性化に関する思いは、政治家になる以前からのものですが、その思いをまとめると下記「」内の様なものでした。

「 ゴルフはマイナースポーツと言われているものの、市内には 33 コースもありこれは日本一の特筆すべき特徴になっている。この特徴を市の発展へ、つなげて行く事が大切だ。

その為には市民全員、本人が望めば気楽にゴルフを楽しめる環境作り、此れこそが市の資産を有効活用し市民の幸せ度向上に寄与するものだ。

更に言えば雪国の子ども達が、体育の授業でスキーやスケートを学んでいる様に、市原市でも子供達がゴルフに親しむ機会を、学校教育の中でも設けて行きたい。」

小出市長のこの熱い思いと政策を集約した表現が「ゴルフの街いちはら」であり、初当選以降そして市長在職の今日まで、小出市長はこの具体化に向けての準備と様々な施策をうってきています。現在この標語は、職員や学校関係者更には市内ゴルフ場関係者の間で、定着した表現になりつつあります。

では小出市長が提唱する「ゴルフの街いちはら」とは、具体的にどのような動き、活動になっているのでしょうか。それは少しずつ、そして時には加速度的に形になりつつあります。以降は小出市長よりご説明頂いた内容に対し、後日職員の方の補足説明を受け記述しています。

「ゴルフの街 いちはら」その具体的な取り組み（市民／児童生徒へ）

■ 「ゴルフ体験授業（教室）」を全小学校へ導入

市原市内には39の公立小学校がありますが、令和8年（2026年）の今年、その全ての小学校において、授業の一環として「ゴルフの体験授業（教室）」が導入されました。

振り返れば平成29年（2017年）、理解を得られた小学校を中心にゴルフ場での体験授業が始まり、ゴルフ場への交通アクセスが悪い小学校に対しては、近隣の公園などを利用したスナッグゴルフ体験授業が、令和5年（2023年）より試験的に導入されました。

翌令和6年（2024年）にはこれら様々なゴルフ授業に対し、市原市教育委員会のお墨付きも得られ正式決定へ至っています。年間約3時間を要した「ゴルフの体験授業（教室）」が、本格的に展開されることになったのです。

当初未知の領域である「ゴルフの体験授業（教室）」へ難色を示す小学校もあった様ですが、令和7年（2025年）には30校による取り組みとなり、正式決定から約3年の月日を費やした令和8年（2026年）には、全校展開することになりました。



< 小学生スナッグゴルフ体験 2024年11月27日 >

授業の趣旨としては、怪我することなく楽しくゴルフの実技、そのエッセンスを子供たちに感じ取ってもらうことです。

「ゴルフの体験授業（教室）」となる現場では教員と共に市役所職員が立ち会いますが、実際子供たちの実技指導にあたっては、（公社）日本プロゴルフ協会及び一社）日本女子プロゴルフ協会・千葉県女子プロゴルフ会に所属しているプロゴルファーの皆さんが行っています。プロの構成としては、ティーチング資格者のみならずジュニア指導資格者を主体に選抜されています。

■ 『市原市ジュニアゴルフオープン』開催

市原市の良好なゴルフ環境を市内外へ発信すべく、また多くのジュニアゴルファーが出場を目標とする様な大会になるべく、令和5年（2023年）に第1回『市原市ジュニアゴルフオープン』が開催されました。以降令和8年（2026年）は第4回目を数え、継続し毎年開催されてきています。



< 第2回市原市ジュニアゴルフオープン表彰式 2024年4月1日 >

出場するジュニアのカテゴリーと出場選手数は、下記のとおりです。

- 1、小学1～2年生 男子の部 12名
- 2、小学1～2年生 女子の部 12名
- 3、小学3～4年生 男子の部 16名
- 4、小学3～4年生 女子の部 16名
- 5、小学5～6年生 男子の部 16名
- 6、小学5～6年生 女子の部 16名
- 7、中学生 男子の部 16名
- 8、中学生 女子の部 16名
- 9、高校生 男子の部 12名
- 10、高校生 女子の部 12名

会場は市内ゴルフ場を巡回し開催されますが、第1回目の開催会場は姉ヶ崎カントリー倶楽部でした。

■ 手ぶらでゴルフ練習場へ

市原市では市内4ヶ所のゴルフ練習場と提携し、令和7（2025年）年7月17日より無料のレンタルクラブを各練習場へ設置しました。市内在住の小学校4年生以上の方であれば、提携練習場へ出向きゴルフクラブを持参

する事無く練習出来る様にしましたのです。

これらの用具（ゴルフクラブ）は、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会から提供されたものですが、例えばこれを市側が独自に揃えたならば、その費用負担は重いものになったのだと思われます。

なお打席料及びボール代は、利用者の自己負担になります。

★無料レンタルクラブ設置練習場（順不同）

- ・アネックスゴルフ（市原市不入斗 1211-2）
- ・光風台ゴルフガーデン（市原市安須 937）
- ・ジャンボゴルフクラブ（市原市能満 2086-89）
- ・ジョイバードゴルフ練習場（市原市金剛地 1611-14）

★貸出クラブ（各練習場ごとの設置本数）

- ・男性用 13 本 < ウッド 4 本（内左用 1 本） / アイアン 9 本（内左用 2 本） >
- ・女性用 8 本 < ウッド 6 本、アイアン 2 本 >
- ・身長 150 cm ジュニア用 6 本 < ウッド 3 本、アイアン 3 本 >
- ・身長 130 cm ジュニア用 5 本 < ウッド 2 本、アイアン 3 本 >

■「市原市ジュニアゴルフスクール」開講

「ゴルフ体験授業（教室）」を経験した子供達の中には、ゴルフへの関心や興味が更に増す子供達があります。この子達の高まる意欲を吸収してあげるべく、令和 5 年（2023 年）から「市原市ジュニアゴルフスクール」が開講しています。

「ゴルフ体験授業（教室）」よりはレベルが上がったものになりますが、運営側に貫かれている基本姿勢としては、ゴルフの楽しさと初心者としての基礎的技術を学んでもらう事です。開催時期は「ゴルフ体験授業（教室）」終了後になります。

市内ゴルフ練習場でのレッスン・練習を 3 回行い、4 回目にはコースへ出て 4～6 ホール程度をラウンド体験します。1 回のレッスン・練習代金は無料、コースラウンド料金は 3000 円に設定されており、定員は 20 名です。この 4 回の工程を一つのスクールとして、令和 5 年（2023 年）12 月に第 1 回目が開催されました。

以降令和 6 年（2024 年）度 3 回、令和 7 年（2025 年）度 5 回、と毎年開催されて来ていますが、令和 8 年（2026 年）度の予定は下記のとおりです。

★アネックスゴルフコース

- ・練習場：10 月 12 日、10 月 18 日、10 月 25 日
- ・コース：鶴舞カントリー倶楽部（10 月 31 日）

★ジョイバードゴルフ練習場コース

- ・練習場：11 月 8 日、11 月 15 日、11 月 22 日
- ・コース：浜野ゴルフクラブ（11 月 28 日）

★ジャンボゴルフクラブコース

- ・練習場：11 月 28 日、12 月 5 日、12 月 12 日

- ・コース：立野クラシック・ゴルフ倶楽部（12月20日）

★光風台ゴルフガーデンコース

- ・練習場：2027年1月11日、1月17日、1月24日
- ・コース：日本長江ゴルフクラブ（2027年1月31日）

なおこのスクールは一般社団法人市原市ジュニアゴルフ協会が市原市より受託し、公益社団法人日本プロゴルフ協会・千葉県プロゴルフ会と連携し運営されています。この運営にあたり、打席を提供する市内ゴルフ練習場の理解と協力がとても重要な要素になっていますが、ゴルフというスポーツが発展し市内のゴルフ人口が増えてくれればという願いが、根底にあるのだと思われます。

■「市原市民ゴルフフェスタ」開催

市原市では令和7年（2025年）に、初めての試みとして「市原市民ゴルフフェスタ」を開催しました。1月6日から2月28日までの約2ヶ月間の限定で全日、市内29コースを市原市民及び市民が同伴する市外の方々が、各ゴルフ場設定の市民特別料金で利用出来る内容です。

市原市民でありながら、敷居が高そうで近づき難かった市内のゴルフ場を、ゴルフラウンドを通じて市民は知れる事になります。また各ゴルフ場にとっては、冬の閑散期ともいえる時期だからこそ市民や関係者を受け入れ易く、この様な交流を通じ地域振興に役立ち存在意義を示せる利点があります。

令和7年（2025年）の利用実績としては、平日649人、土日祝104人の合計753人でしたが、続く令和8年（2026年）は平日1,019名、土日祝336名の合計1,355人、プラス602人という実績を残しました。どこまで右肩上がりで見学していくのか不透明感はあるものの、継続していく事に意義があり、2027年についてもすでに開催する方向で準備が進んでいます。

「ゴルフの街 いちはら」その具体的な取り組み（市内ゴルフ場及び地域振興対策）

■ 高校生へ将来職場となるかも知れないゴルフ場見学を斡旋

市原市では市原商工会議所が平成22年（2010年）より、市内高校生へゴルフ場の職場見学会を実施してきました。当時は当該商工会議所に所属しているゴルフ場の会員を対象にして、市内高校生の理解を深め、更には雇用を推進する役割を担ってのものでした。

この基本的な趣旨は現在も変わっていませんが、平成29年（2017年）からは市側からの申し出により共催と言う形になり、見学対象ゴルフ場も基本的には市内全コースへと変わりました。令和2年（2020年）はコロナ禍の関係から中止になりましたが、令和8年（2026年）まで9回共催されています。

参考までに今年令和8年（2026年）では、どのような取り組み或いは日程で行われたのか、また参加校や生徒数を下記へ表形式で表記することで、簡単に概要を把握出来るものと思われます。訪問したゴルフ場や参加校或いは生徒数など、その年度での変化はありますが、令和7年（2025年）度以前の8回も同様なものでした。

なお参加校は、市原市外からも申し込みがあり参加しています。



< 高校生によるゴルフ場見学 2024 年 5 月 29 日 >

2026 年度	午前の部	午後の部	参加校	参加予定人数	結果
6 月 2 日 (火)	ゴルフ 5C オークビレッジ	立野クラシック GC	市原緑高校	12 人	12 人
6 月 3 日 (水)	鶴舞カントリー倶楽部	CPG カントークラブ	市原高校	28 人	中止
6 月 4 日 (木)	米原ゴルフ倶楽部	ザ ナショナル CC 千葉	一宮商業高校	6 人	6 人
			茂原樟陽高校	1 人	1 人

※ 上記 6 月 3 日は台風の影響により、中止になりました。

■ 「いちほらゴルフ場巡り 33」スタンプラリー

「いちほらゴルフ場巡り 33」はいわゆるスタンプラリーと呼ばれているもので、市内の異なるゴルフ場でラウンドし、達成数に応じて市原市特産品などをプレーヤーが獲得出来るイベントです。市と各ゴルフ場が連携したイベントになりますが、参加者は市原市民であるか否かを問いませんので、全国どなたでも参加可能です。

平成 29 年（2017 年）より開始されたこのイベントは、スタンプラリー帳と言う紙ベースのものへ、ラウンドしたゴルフ場から押印して頂くものでしたが、令和 7 年（2025 年）1 月からは電子化されました。スマートフォンアプリ LINE へ移行した事により、主催者側からの伝達事項がスムーズに伝わっています。また利便性の高まりを反映し、令和 8 年（2026 年）8 月時点で登録者数は 16,850 名に達しています。

このデジタル化に合わせ、一部賞品はデジタル振興券へ変更されましたが、具体的な賞品内容は下記のとおりです。

達成コース数	賞 品
★5 コース	デジタル振興券 2,000 円分
★11 コース	デジタル振興券 5,000 円分
★22 コース	デジタル振興券 9,000 円分
★33 コース	デジタル振興券 30,000 円分

なお市内には 33 のゴルフ場が点在しているものの、様々な理由から 3 コースがこのイベントの対象外になっています。この為、姉ヶ崎カントリー倶楽部、鶴舞カントリー倶楽部、南総カントリークラブはそれぞれ 36 ホールコースなので、18 ホールずつ切り分け 6 コースと数えています。

この結果、「いちはらゴルフ場巡り 33」と言う表題になっています。

■ デジタル振興券

令和 7 年（2025 年）1 月から「いちはらゴルフ場巡り 33」の一部賞品は、デジタル振興券になりましたが、これはデジタル振興券所有者が物と交換出来てはじめて価値のあるものになります。これはある意味、流通市場で今日広範囲に利用されているポイントシステムと、類似していると言えなくも有りません。

市原市ではこのデジタル振興券が、市内多くの店舗で利用出来る様、令和 6 年（2024 年）11 月 1 日から 12 月 13 日までの期間、利用店舗の第一次募集を行いました。対象施設は観光施設、小売店、飲食店、ゴルフ練習場、ゴルフショップなどですが、この時 47 店舗が手を上げました。以降令和 8 年（2026 年）の現時点では、市内店舗 47、登録ゴルフ場のハウス売店 30 の合計 77 店舗まで拡大しています。

この利用範囲を拡大することが、デジタル振興券の価値や魅力の高まりにつながりますし、市内消費経済が活性化していく事にもなります。

■ 市内ゴルフ場は重要な防災拠点



< 市原市とゴルフ場連絡協議会との協定締結式 >

しています。

気候変動と激甚災害が多発する今日、同協議会がこの様に市内の様々な機関と防災協定を締結することにより、市内ゴルフ場の存在意義と防災時における重要な役割が、あらためて認識されたといえます。この事は教育や産業面とは別の意味で、「ゴルフの街 いちはら」を象徴しています。

その昔、ゴルフ場は自然破壊の最たるものとして揶揄されましたが、今人々の理解は大きく変化して来ています。

市原市は 31 コースが加盟する市原市ゴルフ場連絡協議会との間で、「災害時におけるゴルフ場施設の利用に関する協定」を令和 7 年（2025 年）11 月 26 日に再締結しました。

これは平成 8 年（1996 年）9 月 11 日に締結された同協定の協力事項を見直したのになります。再締結により各ゴルフ場における利用可能な施設範囲が大幅に拡充され、各ゴルフ場の役割が大きくなりました。

振り返れば令和 5 年（2023 年）7 月 19 日、市原警察署と同協議会は同様の協定を締結

■ 係から室へ組織体制拡充

令和 8 年（2026 年）4 月 1 日、市原市経済部観光振興課ゴルフの街推進室が誕生しました。これは「ゴルフの街 いちはら」を担う部署が、此れまでの推進係から一段昇格してのものでした。

人員も此れまでの 4 人から、1 名増員され 5 人体制となりました。令和 5 年（2023 年）4 月に旧・推進係が誕生してから、丁度 3 年の歳月が費やされてのものでした。これを早いというのか、遅すぎたというのか、その思うところは個人差があるのだと思われます。

昇格の背景には旧・推進係が積み上げて来た実績と影響力が、庁内においても広く認識されてきた点が大きいのだと思われます。

平成 28 年（2016 年）、小出市長はかねてから温めてきたゴルフ事業・産業に関する思いを具体化する為、当時民間から入ってきたゴルフ場に詳しい某人物の協力を得ながら、その一歩を歩み始めました。さかのぼれば此処が、「ゴルフの街 いちはら」の具体的な出発点だったとも言えます。

市原市議会議員になる以前からの思いが、具体的に動き出した瞬間でした。

その 1 年前の平成 27 年（2015 年）6 月 7 日、小出氏は組織票のみならず多くの市民からの支持を得て、市長になりました。市長という権力を掌握出来たからこそ実現出来る政策の一つが、「ゴルフの街 いちはら」だったのです。

小出市長のゴルフ政策が平成 28 年（2016 年）を出発点だと捉えた場合、今年は丁度 10 年の節目を迎えることになります。ヨチヨチ歩きから今は人間に例えるならば、成人へと成長したと言っても過言ではなくなりました。ゴルフの街推進室が今後どの様な実績を残して行けるのか、今、市原市のゴルフ政策は内外から注目されると共に更なる期待感が高まっています。

小出市長へのインタビューは 30 分という時間制限がありましたが、終始笑顔で語る小出市長は自信に満ちていました。また言葉一つ一つに重みと深みを感じさせました。偉ぶる事無く、誰に対してもフラットな感覚で対応する小出市長のお人柄が、にじみ出たインタビューでした。

令和 8 年（2026 年）8 月 21 日

文__大野良夫 © Yoshio Oono

日本ゴルフジャーナリスト協会員